

親鸞往生論争と教学の現況

真宗

くさま ほうしやう
草間法照著 ▼A5判・上製カバー・332頁 定価 二、八六〇円



近代以降の往生論争や教学のありようを再考。
ステレオタイプ化した「通説」から脱却し、親鸞の実像に迫る！

2023年6月刊行

【目次】

はしがき

第一部 親鸞往生論争の現況

第一章 往生論争の経緯／第二章 真宗大谷派の往生理解／第三章 「即得往生」の解釈／第四章 現世往生論者への小谷信千代の批判／第五章 現世往生論者からの小谷への批判／第六章 小谷の再反論／第七章 別時意説／第八章 無生の生／第九章 還相／第十章 還相の主体／第十一章 還相と社会的実践／第十二章 死へのスタンス／第十三章 実体的な浄土の教え／第十四章 非神話化と物語／第十五章 正定聚の生活と往生の生活／第十六章 現代人の浄土観／第十七章 唯心浄土／おわりに

参考文献

5、戦時下の大谷派僧侶——曾我量深・竹中彰元・河野法雲
6、真宗と利他——『歎異抄』第四条を手掛かりとして

第二部 近代における親鸞教学のありようを問う

1、蓮如と親鸞——真宗大谷派のスタンス
2、親鸞側近の人々の信仰——恵信尼と門弟たち
3、国家権力と闘う親鸞像再考
——「承元の法難を手掛かりとして」
4、親鸞と被差別民
——「一切経校合」時の肉食を手掛かりとして

◆著者略歴

草間法照(くさま ほうしやう)

一九四八年、新潟県小千谷市生まれ。一九七一年、大谷大学文学部卒業。一九七六年、北海道大学大学院博士課程修了。
現在、真宗大谷派勝覺寺住職。真宗大谷派擬講。
著書は、『ビハーク法話——いのち華やぐ日々』(法藏館)、『同朋会運動の願い——共にと言える生き方を求めて』(東本願寺出版部)、『ブッダのことは』I・II・III(講談社、共訳)など。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
草間法照著	
法藏館	
定価 二、八六〇円	
親鸞往生論争と 教学の現況	
ISBN:978-4-8318-8796-2 C0015	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp